

大分工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	倫理
科目基礎情報						
科目番号	R03E203		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	(教科書) 竹内整一ほか著『倫理』東京書籍 / (教科書) 東京書籍編集部編『要点マスター倫理演習ノート』東京書籍 / (参考図書) 適宜レジュメなどを配布することがあるほか、講義内で紹介する。					
担当教員	野村 文宏					
到達目標						
(1) 世界のさまざまな宗教や思想について学び、多様性が尊重される社会を築くために、どうすればよいかを考える。(定期試験)						
(2) 青年期の課題、および現代に生きる私たちが抱える倫理的な諸問題について考える。(定期試験)						
(3) 生命、情報社会、環境、国際平和など倫理に関わる現代の課題について理解し、持続可能な未来を実現するための方法を探る。(定期試験)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	世界の多様な宗教や思想について十分に理解している。		世界の多様な宗教や思想について理解している。		世界の多様な宗教や思想について十分に理解していない。	
評価項目2	倫理的な諸問題について十分に理解している。		倫理的な諸問題について理解している。		倫理的な諸問題について理解していない。	
評価項目3	倫理に関わる現代の課題について十分に理解している。		倫理に関わる現代の課題について理解している。		倫理に関わる現代の課題について十分に理解していない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (A1) 学習・教育目標 (A2)						
教育方法等						
概要	古代から現代までの西洋、中国、日本の宗教や思想について学び、「人間とは何か」「より良く生きるためにはどうすればよいか」について考えていく。また、日本を含む世界の民族、宗教、思想、文化の多様性を理解し、異なる社会が共存することの重要性についても考察していく。人間の尊厳、自由、自然や科学技術と人間との関わり、民主社会についても学び、現代に生きる私たちの課題にも向き合っていく。 (科目情報) 授業時間：46.5 時間 関連科目：現代社会、日本史、世界史。					
授業の進め方・方法	哲学・倫理学・思想史及び社会学・心理学などの知見を用いて、「倫理」に関する諸問題を取り扱う。基本的には講述の形式によるが、学生諸君の予習復習の程度が高い場合には、適宜、ソクラテス・メソッドにより講義を進行させることがある。					
注意点	授業中にノートをきちんと取り、予習と復習をしっかりとすること。次回の授業で勉強する教科書の箇所を、予習として必ず読んでおくこと。					
評価						
(総合評価) 到達目標の (1) ～ (3) について、計4回の定期試験の平均点によって評価する。総合評価が60点以上を合格とする。 (再試験について) 4回の定期試験の平均点が60点未満の者には再試験を行うことがある。この場合の実施方法、条件などは授業において明示する。						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション			
		2週	青年期、人間と哲学	青年期の特徴や位置づけ、意義、課題、生き方について理解できる。		
		3週	ギリシャの思想Ⅰ	自然哲学やソクラテスについて理解できる。		
		4週	ギリシャの思想Ⅱ	プラトンやアリストテレスについて理解できる。		
		5週	キリスト教Ⅰ	旧約聖書やイエスの教えについて理解できる。		
		6週	キリスト教Ⅱ、イスラーム	キリスト教の展開や、イスラームの教えについて理解できる。		
		7週	仏教	古代インドやブッタの教えについて理解できる。		
		8週	中国の思想	孔子と儒家の思想について理解できる。		
	2ndQ	9週	前期中間試験			
		10週	前期中間試験の解答と解説、芸術と人間	芸術と人間の関わりについて理解できる。		
		11週	日本人の精神風土、仏教と日本人	日本人の宗教観や倫理観、仏教の日本人の思想形成について理解できる。		
		12週	儒教と日本人	儒教と日本人の思想形成について理解できる。		
		13週	江戸時代の思想	国学と庶民の思想形成について理解できる。		
		14週	西洋思想と日本人の近代化	近代への啓蒙や国民道徳について理解できる。		
		15週	前期末試験			
		16週	前期末試験の解答と解説			
後期	3rdQ	1週	人間の尊厳についてⅠ	ルネサンスや人文主義者、マキャベリについて理解できる。		
		2週	人間の尊厳についてⅡ	宗教改革について理解できる。		
		3週	人間の尊厳についてⅢ	ベーコン、デカルト、パスカルについて理解できる。		
		4週	民主社会と自由Ⅰ	社会契約説 (ホッブズ、ロック、ルソー) について理解できる。		

		5週	民主社会と自由Ⅱ	カント, ヘーゲルについて理解できる。
		6週	社会変革の倫理Ⅰ	功利主義, 社会主義について理解できる。
		7週	社会変革の倫理Ⅱ	実証主義, プラグマティズムについて理解できる。
		8週	新たな人間像Ⅰ	キルケゴール, ニーチェについて理解できる。
	4thQ	9週	後期中間試験	
		10週	後期中間試験の解答と解説. 新たな人間像Ⅱ	現代の実存主義について理解できる。
		11週	新たな人間像Ⅲ	人間観と言語観の問い直しについて理解できる。
		12週	自然や科学技術と人間, 民主社会の成熟のために	近代の自然観や近代科学の傾向, 成熟した民主社会のための思想を理解できる。
		13週	現代の課題Ⅰ	現代の課題(生命, 家族, 地域社会, 情報社会)について理解できる。
		14週	現代の課題Ⅱ	現代の課題(文化と宗教, 環境, 国際平和)について理解できる。
		15週	後期末試験	
		16週	後期末試験の解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0